

ニッサン童話と絵本のグランプリ

日産自動車(株)の協賛を得て、当財団が主催している「ニッサン童話と絵本のグランプリ」は、童話と絵本の振興に寄与するとともに、新人作家の登竜門ともなつて、高い評価を得ています。

第22回の応募総数は、童話二二七五編、絵本五五五編で、厳正な審査の結果、次の作品が入賞し、3月19日に当館講堂で表彰式が行われました。(敬称略)

【童話の部】

大賞「大切な足し」

佐藤まどか(イタリア共和国)

優秀賞「満月まんじゅう」上田真湖(大阪府)

「腕白ママ」たきしたひろみ(兵庫県)

「ネコの野球部」藤谷久美子(岡山県)

【絵本の部】

大賞「ハルとカミナリ」千葉三奈子(埼玉県)

優秀賞「ボクはボク」ながやまだし(沖縄県)

「空色のツバメ」富田真矢(福岡県)

「ぼくの畑だぞ」成田良和(岐阜県)

団体利用

当館では、より多くの子どもたちが、読書の楽しさを味わうことができるように、当館職員とボランティアが協働して、日頃の実践や研究の成果を生かして子どもたちに直接サービスをする「団体利用プログラム」を提供しています。

素話・絵本・ビデオ・本の紹介・ワークショップなどを織り交ぜて、子どもたちが本や物語の世界にふれて、楽しい時間をもてるように魅力的なプログラムをご用意しています。これは、保育園(所)・幼稚園・小中高等学校・その他団体で、事前に予約して利用していたプログラムです。

2005年度は、35団体、約二六五〇名の子どもたちが利用し、好評を得ました。プログラムについては、当館ホームページでも紹介しています。ぜひ活用ください。

大阪府子ども読書活動推進事業

大阪府子ども読書活動推進連絡協議会(大阪府教育委員会)大阪府立中央図書館/大阪市立中央図書館/大阪府教育センター/大阪府教育センター/大阪公共図書館協会/大阪府学校図書館協議会/大阪府学校図書館協議会/学校図書館を考える会・近畿/大阪府子ども文庫連絡会/島本町立図書館/大阪府教育委員会 事務局/財団法人大阪国際児童文学館)では以下の事業を行いました。

◆「豊かな子どもの読書活動をめざして 平成17年度報告書」(2006年3月発行)

◆「シンポジウム」図書館は、結ぶ。―子ども本・大人― 3月10日/パネラー=高橋優子氏(茨木市立中央図書館司書)、上田栄美氏(富田林市立中央図書館司書)、岩佐直美氏(羽曳野市立中央図書館司書)/コメンテーター=塩見昇氏(日本図書館協会理事長)の開催、あわせて交流会の開催。

◆「子ども読書ファシリテーター講座」(3回連続)と「おはなしスキルアップ講座」(5回連続)を大阪府域3カ所(アシリテーター講座=高石市、富田林市、高槻市/スキルアップ講座=阪南市、柏原市、池田市)で開催。

こども室

こども室では、おはなし会(20回、テーマは「春」)うさぎシアタリカ(月や星)など、ボランティアとの協働、物語体験ワークショップ(4回、「科学あそび」(講師=山方剛氏)「アニメーションを作ろう」(講師=小谷佳津志氏)「こぼれあそび大会」(街頭紙芝居)「出演=三邑会)「冬の詩を楽しもう」(おたのしみ会)「カルタとり大会」大型ビデオ上映会を行いました。加えて左の行事も行いました。

◆夢の池劇場(5月3、4、5日)

5月3日「バオバブの木の下で」西アフリカおはなし村から「出演=江口久氏(国立民族学博物館名誉教授)、河辺知美氏・シロシ氏(西アフリカの太鼓演奏家)

5月4日 ①「世界のアニメーション」(ぶたかい王子)「ヤブ・ミュージック・メディア協力他) ②書庫ツアー

5月5日 ①「しんやひろゆきさんと漫才に挑戦」

②人形劇「漫才の星になるんや」(人形劇団京芸) ③ともに子どもゆめ基金助成事業

◆作家を招いた行事

6月12日「オーストラリア絵本作家ワークショップ」

ブロン・ブルックスさんと絵本の世界を楽しもう」

10月2日「関野吉晴さんのグレートジャーニー」(子どもゆめ基金助成事業)

3月21日「絵本作家 金尾恵子さんと絵本を作ろう」(子どもゆめ基金助成事業)

◆子ども室行事の全参加者数は一六九三名でした。

◆「子ども室」は、最近の絵本の全体的な傾向を踏まえて、幼児向けの絵本を「紹介しました」。

◆「子ども室」は、最近の絵本の全体的な傾向を踏まえて、幼児向けの絵本を「紹介しました」。

◆「子ども室」は、最近の絵本の全体的な傾向を踏まえて、幼児向けの絵本を「紹介しました」。

◆「子ども室」は、最近の絵本の全体的な傾向を踏まえて、幼児向けの絵本を「紹介しました」。

◆「子ども室」は、最近の絵本の全体的な傾向を踏まえて、幼児向けの絵本を「紹介しました」。

◆「子ども室」は、最近の絵本の全体的な傾向を踏まえて、幼児向けの絵本を「紹介しました」。

古書紹介

◆日本少国民文化協会(童話部)関連資料  
日本少国民文化協会・童話部会や報告挺身隊(童話部)・協会賛助員の各規定、また昭和17年11月18日に東京で行われた童話部会統成講習会の開催案内などを含む(写真右)。同講習会講師には、折口信夫・佐伯郁郎・石森延男・石井庄司(研堂)・高須芳次郎らの名が見える。原勝の幼児童話台本「強い日本の兵隊さん」(皇太子生誕日記念のもの)や、幼児防空対策研究会、軍人援護指定校として当時注目された熊谷市石原国民学校の参観案内など、戦時下における部会の活動を知る貴重な資料といえる。本資料は、内山憲尚や岸辺福雄らと交流のあった口演童話家・山本巖雄の旧蔵資料。



人事

川浦孝之(任期付専門員)二〇〇六年三月三十一日付退職  
窪田美鈴(任期付専門員)二〇〇六年三月三十一日付退職  
鈴木穂波(任期付専門員)二〇〇六年四月一日付着任  
徳田恵里(任期付主事)二〇〇六年四月一日付着任

\*編集後記\*

本誌では、昨年度一年間の活動報告を中心に、成果を生かしたサービスも紹介しております。ぜひ活用ください。また今年度は、昨年度の韓国と日本の絵本に引き続き、「台湾と日本の絵本」をとりあげます。8月からの小展示は「マザーグース展」です。その他今年度の活動や、当館発行物の購入等については当館のホームページ(<http://www.jidlo.or.jp/>)で随時紹介しておりますので、ぜひご覧ください。当館への意見・要望もぜひお寄せください。